



THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

札幌クラブ

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

YMCA リエゾン・次年度の計画

— 主題 —

国際会長 「輝かそう、あなたの光を」
アジア会長 「変革のための光となろう」
東日本区理事 「未来のために今、学びと気づきを！
未来のために、自信と喜びを感じる機会を！」
北海道部部长 「楽しく仲良く活動しよう」
札幌クラブ会長 「充実した人生を送るためのワイズ活動」

Ulrik Lauridsen (デンマーク)
利根川恵子 (川越)
山田 公平 (宇都宮)
古賀 勝己 (北見)
小野 健 (札幌)

札幌クラブ役員
会長 小野 健
副会長 小谷 和雄
書記 山崎 修
会計 秋葉 聡志
直前会長 伏木 康

「夢なき者は理想なし 理想なき者は信念なし 信念なき者は計画なし 計画なき者は実行なし 実行なき者は成果なし 成果なき者は幸福なし ゆえに幸福を求むる者は夢なかるべからず。」 渋沢栄一 小野 健選

ワイズメンズクラブ国際協会第27回東日本区大会報告 札幌クラブ会長 小野 健



2024年6月1日(土)に十勝晴れの帯広で初夏の心地よい空気の中で、第27回東日本区大会が開催されました。札幌クラブからは秋葉さん、宮崎さん、小谷さん、伏木さん、柴田さん、安田さん、北川さん、小野が参加し、大会会場の受付など微力ではありましたがお手伝いさせて

前日 5/31(金)の前夜祭は参加を希望される方がとても多かったため、ゴルフ組と分かれての開催となりました。ランチョエルパソ(小野の畜大時代の思い出の場所の一つです)での前夜祭では、お店自慢の料理とビール、池田十勝クラブ会長によるマジックショー、十勝をテーマにしたとてもマニアックなクイズ大会で、翌日の大会に向けて大いに盛り上がった一夜となりました。

翌日 6/1(土)の大会は帯広駅前のとちかちプラザで開催されました。午前中は代議員会、担当主事会、ユースの集い、メネットアワーとそれぞれ分かれてのアクティビティでした。代議員会では、今年度の東日本区の活動・決算

いただきました。また、大会でのユース発表に札幌のSDGs ユースアクション「グッドズドライブ」を企画・実施中の札幌 YMCA ボランティアリーダー会から代表ではるリーダーと湯井スタッフも参加してくれました。大会には320数名の大勢のワイズメンに参加いただき、さながら「帯広ジャック」でした。

特筆すべきは西日本区のクラブからも大勢のワイズメンに参加いただいたことです。

日本全国のワイズが十勝で語り合い、交流する素晴らしい大会となりました。



前列中央に小野会長と札幌クラブバナー

2024年5月例会
出席報告

在籍会員 13名 出席者 12名 メネット 0名 メーキアッ 1名
ゲスト 1名 ビジター 0名 出席者合計 13名 出席率100%

札幌ワイズメンズクラブ 2024年6月例会

日時：2024年6月18日（火）18:30～20:30

会場：北海道YMCA 101教室+リモート

会費：1,000円 司会 山崎 修

① 開会点鐘 副会長 小谷 和雄

② ワイズソング、ワイズの信条 全員

③ 今月の言葉・なぜこの言葉を 小野 健

④ 開会あいさつ 会長 小野 健

⑤ 誕生日 なし

⑥ 結婚記念日 なし

⑦ 卓話

「新米会長の一年を振り返って」 札幌クラブ会長 小野 健 「全リー研究報告」 はるリーダー ほか

⑧ 諸報告

⑨ YMCA報告 担当主事 北川 佳治

⑩ 私も一言

⑪ 今月の歌

「ね」高橋はゆみ 作詞・作曲
伏木 康選



閉会点鐘 副会長 小谷 和雄

札幌ワイズメンズクラブ5月例会報告

札幌ワイズメンズクラブ会長 小野 健

5月21日（火）の5月例会には、一般社団法人ソーシャルペダゴジーネット代表理事の松田孝さんをお招きして卓話をいただきました。

ソーシャルペダゴジーとは、教育や福祉をまたがって「社会における子育て」を意味する言葉で、主に欧州で使われてきたことば本ではまだまだなじみのないものですが、学校や家庭にとどまらずコミュニティ全体で子どもたちや若者を見守り、育てていくというコンセプトです。近年日本の社会では、家庭の貧困、子どもの不登校や引きこもり、家庭内暴力・DV、ネグレクト、若いシングルマザー、ヤングケアラーなどの言葉が多く見聞きされるようになり、大きな社会問題となっています。それは我々の住んでいる札幌も例外ではありません。一昔前は放課後に公園や空き地に子どもたちが集まり野球をしたり一緒に遊んだり、それを近所の大人たちが見守っていましたが、今は家に帰っても親が仕事でおらず、学校から帰った後にはそのような居場所のない子どもたちが増えてきてしまっています。

今回卓話いただいた松田さんのソーシャルペダゴジーネットでは、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会と協働で、「いとこんち」という子どもやわかもの居場所を提供する施設の運営や、カーペットやテーブルを備えたワゴン車「リビングカー」で子どもたちが集まってのんびりしたり勉強したり、時には朝ごはんを提供するなど、地域の子どもたちの居場所づくり、地域の大人と共に子どもたちを見守りながら専門機関・専門家とのネットワークを作る活動を行っています。松田さんからお話いただいた、居場所のない、困難に面した子どもたちについての現状は、とてもショッキングなものでした。そして彼らの問題を少しでも和らげる活動の大変さを実感する卓話でした。そのような中、「いとこんち」での活動に近所の大人やコミュニティがすこしずつ参加していくことで、地域全体で子どもたち・わかものたちを見守っていく環境をつくっていく、本当に重要で素晴らしい活動であると思いました。 ➡ P4 右中段に続く。

何故このことばを！ 小野 健

新一万円札の絵柄にもなる「格言王」渋沢栄一の残したことばからピックアップです。日本は円安、物価高、政治の混迷、災害、日本を取り巻く安全保障などなど、とても暗いニュースばかりです。海外に目を向けてもウクライナ戦争、ガザ戦争、東アフリカの洪水、テロ... 我々は混んとした世界に放り込まれています（ディストピアを描いた映画やドラマが多いのもこういった世相を反映しているのでしょうか？）。

そのような世界にあっても、常に理想を持ち、その理想に向けて何をすべきかを常に問い、自分や家族が幸福でいられるように、世の中を少しでも良いものにしていきたいと自戒の念も込めて、このことばを選んでみました。

何故この歌を！ 伏木 康

昨年秋のユースリーダーボランティアリーダーズフォーラムでの1シーンをユーチューブに送りました。東日本区の各クラブから送られたユースリーダーたちがいろいろキャンプソングを歌っていた中でワイズ世代でも歌いやすい曲だと思いました。

ちなみに、ユーチューブには6月例会に参加のはるリーダーも映っています。6月例会で覚えて、チミケップ湖畔でユースに還って歌ってください。

ワイズメンズクラブ国際協会第27回東日本区大会告 (p.1より 続く)



写真上： 前列左から、十勝クラブ、北見クラブ、札幌クラブ、北海道部旗

報告、次年度の予算などについて審議されました、

各クラブの会員減に伴い、厳しい財政状況である中、厳しいご意見も出されました。

また、代議員会では次々期の2025～2026年度の東日本区理事として十勝クラブの山下真さんが選出されました。

午後からの本大会は、帯広大谷高校マーチング、とかち帯広YMCA 幼保育園児によるダンス、各部・クラブのパナーセレモニーのオープニングセ



写真上： 山田公平理事から「奈良伝賞」を受賞する十勝クラブ池田正勝ワイズ。右は50年メネットとして池田ワイズを支え続けた明美さん。

レモニーの後に山田理事による開会点鐘、宮崎さんによる開会祈祷、池田十勝クラブ会長の歓迎挨拶、来賓祝辞（米沢帯広市長、田口 YMCA 同盟総主事、利根川アジア太平洋地域会長、深谷西日本区理事）の開会式となりました。

引き続きの東日本区アワーI では、山田理事の東日本区活動報告、はるリーダー・湯井スタッフによるYVLF とユースアクション「グズドライブ」の発表（これが我々にとってはメインイベントでした。大勢の聴衆の前ではるリーダーは堂々と素晴らしいプレゼンテーションでした！）、代議員報告、能登半島地震被災者支援についてのYMCAの報告が行われました。

その後の休憩タイムでは、十勝クラブの皆さんからこれでもかというくらい十勝のスイーツとよつばの牛乳・ヨーグルトなどがふるまわれ、皆大満足のおやつタイムでした。

基調講演会は、南極料理人の西村淳氏による「食べることは生きること」のタイトルで行われました。西村氏の南極観測隊でのご経験をユーモアにあふれたお話と美しい南極の映像（+とてもかわいらしいお孫さんの動画）で伝えていただきました。

引き続きの東日本区アワーII では、事業主任報告・表彰となり、札幌クラブはユース事業としてYIA 優秀賞（若者の参画・活動）を受賞することができました！ユースアクションへの支援やYVLFへのユースの応援などの活動が評価されたもので、これからのクラブ活動においても勇気づけられる受賞でした。

閉会式の後には、お待ちかねの大晩餐会がホテル日航ノースランド帯広で挙行されました。安田さんのピアノ演奏の後に、飯田幕別町長の歓迎挨拶、秋葉さんによる食前感謝、京都ウエストクラブの森田さんの乾杯の音頭で夜の宴が始まりました。お料理はこれでもかというくらい十勝づくし、コーナーにはアスパラガスを目指して長蛇の列、私個人的には学生時代大変お世話になった帯広市民のソウルフードのインディアンカレーに歓喜でした。最後のデザートはこれまた帯広超有名スイーツのクランベリーのスイートポテトと豪華絢爛でした。祝宴中は平島賢治さんの歌謡ショー、抽選会での豪華賞品で盛り上がり、来年熊本で開催されるアジア太平洋地域大会、神戸の西日本区大会、宇都宮での東日本区大会のアピール、最後は地元帯広のよさこいソーランチームのExclamation Nによるよさこいソーラン乱舞で皆踊り狂い、山下次期理事の挨拶で閉会となりました。



山田理事と小野札幌会長

山田敏明大会実行委員長を中心に十勝クラブのこれでもかというくらいホスピタリティとチームワークにあふれた大会運営で、素晴らしい東日本区大会となりました。



写真上： 十勝の大原野にショパンの調べがよく合います。札幌クラブ安田文子ワイズ。

十勝クラブの皆さん、本当に有難うございました！ そしてお疲れ様でした！

巻頭言：北海道とマウンテンバイクの未来

東日本区大会報告のため、巻頭言が p.4 に

札幌クラブ書紀 山崎 修

私の小学生の娘たちは、冬にはスキー、夏にはマウンテンバイクを楽しんでおります。近年、森林の活用は環境保護、観光、教育など多岐にわたり、北海道の未来に大きな影響を与えると感じています。しかし、現代の子供たちは塾通いに忙しく、もっと自然体験をさせてあげたいという願いがあります。

スキーとマウンテンバイクには共通点があります。それは、どちらも二人乗りができず、自分自身のリスクを自分で管理しなければならない点です。これは大げさに言えば、生きる力を養うことに繋がるのではないかと思います。

マウンテンバイクのコース作りは、適度な森林整備を必要とするため、自然との共存を促す「里山再生」の一環として捉えられます。特に北海道では馴染みの薄いこの考え方ですが、動物たちとの境界を作り出し、共存のきっかけとなるのではないのでしょうか。さらに、近年ではテクノロジーの進化により、Eバイクなどの存在が、山道を楽し々と登ることを可能にし、ご年配の方々にも楽しんでいただけるようになりました。健康増進にも良い影響が期待できるでしょう。ただし、下り坂は安全に楽しんでください(笑)。

このように、マウンテンバイクは自然の中での貴重な体験を提供し、森の利活用に最適なツールとなり得るのです。北海道の未来に向けて、より多くの人々が自然と触れ合い、共生していくことを願っています。



編集部注：

山崎ワイズはオリンピックです。日本の初期のフリースタイル界を牽引しました。1992年、アルペールビル・オリンピックのモーグルの日本代表でした。スキーの名解説者としても有名です。

10数年後のお嬢さんの活躍にご注目下さい。

4月例会卓話：課題解決型学習とは

記事縮減のためひと月遅れになりました。

北海道科学大学全学共通教育部 本宮大輔

今回のテーマは、「課題解決型学習を今なぜ学生達に求めるのか」でした。課題解決型学習の重要性、大学教育におけるその導入状況、今後の展開などについてお話ししました。



課題解決型学習は、溝上ら(2016)が言うところの「学生の自己主導型の学習デザイン、教師のファシリテーションのもと、問題や問い、仮説などの立て方、問題解決に関する思考力や協働学習等の能力や態度を身につける」ことを目的としています。

近年の大学進学率の向上に伴って、少子化の中にあっても、大学進学者数は増加しています。それは学生たちの大衆化・多様化が進んでいくことになりました。その結果、これまでの一方向的な教育から学生中心の双方向的な学びへと変わっていくことになっていきました。

そして、変化が加速度的に早まり、第4次産業革命の最中にある昨今、知識だけでなく価値観やスキルが重要視されるようになり、人材育成についてのOECDの提言や政府の教育政策方針の中でも、課題解決能力の育成が必要としています。あわせて、2018年に経団連が企業へ行った調査によると、新卒採用の大学生へ求める能力として「コミュニケーション能力」「主体性」が上位にあることも紹介させていただきました。

そのような背景を基に、私、本宮が北海道科学大学において担当する課題解決型学習の講義「課題発見解決法Ⅰ・Ⅱ」を例に、行動を起こし、振り返りを行い、次の行動につなげるサイクルを実践するカリキュラムを紹介させていただく卓話となりました。

編集部注： ▼この他に、参考文献、グラフ等を提示頂きましたが誌面の関係で割愛させていただきます。 ▼上の写真は札幌在住のウクライ

P.2 「5月例会報告」から続く。

札幌 YMCA とご近所ということもありますし、YMCA・ワイズの活動との共通性・親和性も高いと思われます。卓話後に例会参加メンバーからわざわざですがソーシャルペダゴジーネットへの寄付をさせていただきましたが、ワイズメンズクラブとして何かできることはないか、真剣に考える機会となったと考えています。

① 子どものための短期集中サマープログラム 受付開始

5月29日より、幼少年短期集中サマープログラムの会員受付を開始致しました。6月3日より一般受付も開始しております。札幌YMCAでは、この夏休みに1,300名ほどの子ども達の良き思い出作りと体験活動の機会を応援します！

詳細はYMCAホームページにてご覧ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



② 小学校水泳授業指導者派遣

今年も全国一斉のウォーターセーフティーキャンペーンが開催されます。その一環として、札幌YMCAでは、6月中旬から9月初旬にかけてYMCA近隣の札幌市立小学校へ出向き、水泳授業（着衣泳含む）の指導者を派遣します。

延べ3,000名ほどの児童に指導を行う予定です。子どもたちの泳力向上はもちろん、教員の皆さんのサポートも行い、YMCAが地域の一員として、地域の課題解決に目を向けた働きを持ちます。

そしてYMCAアクアティックの使命であるウォーターセーフティーの普及にも変わらず努めてまいります。 #YMCA #尊い命

#ウォーターセーフティー #水上安全 #着衣泳

右下より続く ♪

8. 中田メン功労会員について

東日本区に申請中だった中田メンの功労会員について、東日本区理事により承認された。

9. 京都パレスクラブへの返礼訪問について

小野会長自身の出張・業務時期を勘案して、9月～10月初旬を予定。先方クラブ例会の日程を確認したうえで、決めたい。同伴者調整したい。

10. 時計台コンサート会場変更。

安田メンより、これまでの時計台ホールから会場を札幌文化芸術交流センターSCARTS コートに変更したいとの提案があり、意見交換の結果、12月4日（水）同所で実施することとした。

以上。

記録者：秋葉 縮小版作成：中田

【札幌ワイズ5月事務会記録】

日時：2024年5月28日（火）19:00～20:00
場所：札幌YMCA 総主事室・オンライン★ 併用
出席：小野（長）、秋葉、小谷、北川、柴田、中田、本宮★

1. プリテン6月号について：別紙原案検討、確認
2. 6月例会について
 - ・日時・場所：2024年6月18日（火）18:30～20:30 札幌YMCA101教室
 - ① 小野会長卓話（マダガスカルからオンライン）
 - ② 全リー研報告（はるリーダーほか）
3. 2024年7月～の例会卓話について
 - ▼札幌YMCA ユースボランティアリーダー会によるSDGsユースアクションプロジェクト報告
 - ▼湯井リーダー、はるリーダーにプロジェクトの紹介とスケジュール、ワイズとの連携について話し合い
4. 駅伝方式の対面レースを2019年以来4年ぶりに開催。全部で6チーム参加（一般4チーム、ジュニアアフター2チーム）。
 - ・当初、ワイズはコーヒーサービスで参画予定であったが、参加チームが少ないため、コーヒーサービスを取りやめ、急遽駅伝に参戦。ワイズチームは柴田、秋葉、伏木、健太君、小野の5名で走った。結果は、申告タイム1時間20分、実走タイム57分01秒、タイム差22分59秒で3位となった。
5. チミケップキャンプ場ワークについて
 - ・日程：6/15（土）～6/16（日）1泊2日
 - ・去年までは日帰りだったが、今年はキャンプ場での1泊を予定。
 - ・参加予定者：伏木・柴田、汝羊寮から4名
6. 東日本区SDGsユースアクションについて
 - ・札幌YMCA ユースボランティアリーダー会による「グッドドライブ」の衣服集めを5月より開始。札幌YMCA 会館入り口に回収ボックスを設置している。
 - ・6/16（日）ウォーターセーフティーデーのイベントに合わせて、第1回目の子ども服の交換会を実施予定。
7. 次期北海道部会（8/31（土））について
 - ・日程：8月31日（土）ホストは札幌クラブ
 - ・会場：中島公園内 豊平館
 - ・8月部会后、9月または10月の土曜日を使って評議会を企画検討したい。各ワイズから均等距離の滝川市付近で山崎メンにアレンジ依頼できないか、今後三役（柴田・伏木・秋葉）で検討進める。

♪ 左上に続く